愛媛県感染症情報

平成 19 年 11 月 9 日 (H19.No21) 愛媛県基幹感染症情報センター 愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課 愛媛県立衛生環境研究所

http://www.pref.ehime.jp/

インフルエンザの予防接種を受けましょう!

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる呼吸器感染症で、普通のかぜとは異なり、発熱、頭痛、関節痛などの全身症状が強く、さらに肺炎などの合併症を引き起こすことがあります。インフルエンザの予防方法としては、うがい・手洗いや体力維持といった一般的なかぜ対策も重要ですが、さらにインフルエンザワクチンの接種により、重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待されています。特に、高齢者や基礎疾患のある方はかかりつけ医と相談の上、予防接種を受けましょう。詳細は次のページに掲載しました。

発生動向の概況

RS ウイルス感染症は流行した昨シーズンに比べ低いレベルで推移していますが、東中予で発生しています。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は今治地区及び中予の多発が続き、増加傾向です。水痘は例年どおりの動向で増加傾向です。南予を中心に発生しています。百日咳は8月中旬以降、宇和島地区で10歳代を中心に散発が続いています。

今年9例目の後天性免疫不全症候群の届出がありました。近年、全国的に増加傾向ですが、愛媛県内でも1999年4月の感染症法施行以降、年間届出数が最も多かった2003年と既に同数になりました。この疾患は早期に診断し、治療を開始すれば発症を遅らせることができます。エイズに関するご相談・お問合せは保健所に相談窓口を設置していますのでご利用ください。また保健所では、エイズ検査を無料・匿名で実施しています。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 1例(O157)

五類感染症: アメーバ赤痢 1例

後天性免疫不全症候群 1例(AIDS)...平成19年 累計9例

30 歳代男性、推定感染経路:異性間性的接触、推定感染地域:国内

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

		-			·
			愛媛	県 推 移	県 内 の 傾 向
RSウィ	イルス感	染症	1	0.1	東中予で散発。流行した昨シーズンと比べると非常に低いレベルで推移。
A群容血	生レンサ球	多型数		2.3	東中予で発生している。今治地区及び中予で多発。
水		痘	1	1.2	例年どおりの動向でやや増加してきた。南予を中心に発生している。
百	B	咳		0.1	8月中旬以降、宇和島地区で10歳代を中心に散発が続いている。

解析評価委員のコメントから

RS ウイルス感染症 : 少し増えてきました。(東予)

乳幼児で増加しています。感染を契機として強い気管支ぜんそく発作をおこすケースも少な

くありません。(中予)

咽 頭 結 膜 熱 : 散発ですが、当科ではこの2週間にアデノウイルス感染の患者が5名入院しました。高熱と

咽頭扁桃腺炎が主体の症状で結膜はそれほど表には出てきませんが、調べるとアデノがしっ

かり陽性を示します。(南予)

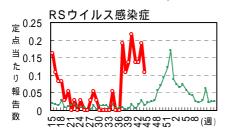
A群溶レン菌咽頭炎 : 比較的多く見られます。咽頭発赤は軽度でも検査してみると陽性にでることがあり、どこま

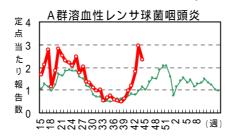
で治療が必要か迷うこともあります。(中予)

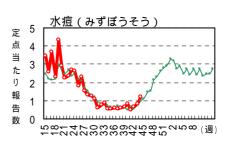
百 日 咳:唯一宇和島でのみ発生しています。外来でもそれほど咳の患者が多いわけではありません

が、頑固な咳が続く場合が時々あります。(南予)

過去 30 週の動向 (--- : 過去 30 週の動向、 --- : 過去 10 年の平均)







インフルエンザ予防接種を受けましょう!

インフルエンザは毎年流行するウイルスの抗原型が変異し、大きな患者発生を引き起こすことが知られています。そのため、インフルエンザワクチン株は、昨シーズンの国内外の流行状況や抗体保有率などから毎年選定されており、今シーズンは 2006/2007 シーズンワクチン株と比べると A ソ連型のワクチン株が変更されています。

予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに約2週間程度かかります。このことから、より効率的に有効性を高めるためには、インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことが必要です。今シーズン、現在までに愛媛県内では患者は発生していませんが、近県では徐々に発生してきました。今後の流行期に備え、予防接種を受けましょう。(参照:愛媛県感染症情報センターホームページhttp://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm)

病原体検出情報

急性気道感染症の増加する季節です。RS 感染症、A 群溶レン菌咽頭炎患者数が例年より早く増加が見られており、下気道炎からはRS ウイルスが、溶レン菌咽頭炎から A 群溶レン菌が検出されています。県内では、インフルエンザの患者報告はまだありませんが、近県の岡山県で、A ソ連型による集団発生(42週)の情報が入っています。全国では、39~43週に A ソ連型 38 例、37週に A 香港型 2 例の検出報告があります。百日咳患者報告も持続しています。10月4日以降採取された宇和島地区の患者検体12件では、百日咳菌の遺伝子は検出されませんでした。さらに5 検体は検査中です。

感染性胃腸炎は、今のところ目立った増加は見られておりませんが、10 月末には松山市地区でサポウイルスによる食中毒が発生しております。今後ノロウイルスの流行シーズンを迎えますので、徐々に増加することが考えられます。

過去5週 検出病原体

(10月1日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
		西条	手足口病	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	2
40	10/1 ~ 10/7	松山市	不明熱	単純ヘルペス 1	咽頭ぬぐい液	1
		宇和島	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	2
41	10/8 ~ 10/14	松山市	下気道炎	コクサッキーB2	咽頭ぬぐい液	1
41	10/6 10/14	לוי דדו אוי	不明熱	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	1
			溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
42	10/15 ~ 10/21	松山市	不明熱	コクサッキーA3	咽頭ぬぐい液	1
			下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	2

月別病原体検出結果

検体採取月	NH/I		20	07			合計
検出病原体	6	7	8	9	10	11	
コクサッキーA2			1				1
コクサッキーA3					1		1
コクサッキーA5	1	6					7
コクサッキーA6	1	6 2 3	2 1	1			6
コクサッキーA9		3					4
コクサッキーA10			1 2				1
コクサッキーA16			2		3 1		5
コクサッキーB2				1	1		2
コクサッキーB4		1					1 5 2 1
エコー 18		1					1
ポリオ 2				1			1
ウ エンテロ 71				1			1
イ インフルAソ連	1						1
ル インフルA香港	1						1
スインフルB	1						1
パラインフル3	1	1			_		2 2 4 1 5 8 3
RS		_	- 4		2		2
ムンプス	4	3	1				4
ロタ ノロ	1	4					<u> </u>
サポ		3					5
アデノ	5 1	3	2				8
アデノ1	- 1		<u>2</u>				1
アデノ2	5	1	2				8
アデノ6	3	'		1			1
単純ヘルペス 1					1		1
ウイルス計	19	25	13	5	8		70
サルモネラ O4	-10		1				1
サルモネラ O9			1				1
細 カンピロバクター		2	•				
菌 百日咳菌				5	2		7
A群溶レン菌	3	1	1	1	1		7
G群溶レン菌			1				1
細菌計	3	3	4	6	3		19

臨床診断名別検出結果 (2007年9月以降採取検体)

	溶	手	百	下	不	合
	レ					
	ン	足		気		
	菌		日		明	
	咽			道		
	頭					
検出病原体	炎	病	咳	炎	熱	計
コクサッキーA3					1	1
コクサッキーA6		1				1
コクサッキーA16		2			1	3
コクサッキーB2				2		2
ポリオ 2				1		1
エンテロ 71		1				1
RS				2		2
アデノ6				1		1
単純ヘルペス 1					1	1
ウイルス 計		4		6	3	13
百日咳菌			7			7
A群溶レン菌	2					2
細菌 計	2		7			9

定点把握五類感染症 2007年 第 44 週 (2007.10.29~11.4)

眼科定点

基幹定点

小児科定点

-	ᆂᄞᄮᇄ	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	南咽頭炎 本群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風 しん	ヘルパンギー ナ	²⁾ 麻 し ん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	゚クラミジア肺炎	成人麻しん		
忠	者報告数 四国中央		1		1	17	4	1		3			1			_	_						四国中央	
保	西 条		1		9	36	4	2	1	3			·				1						西 条	
健	今 治		1		26	10	3			4							6						今 治	ì
	松山市		1	1	44	51	19	7	1	6			4		1		7	-	-	-	-	-	松山市	ī
所	松 山				5	11	1	3		5													松 山	1
別	八幡浜				1	11	5			5			2		3		3						八幡浜	į
	宇和島					1	8	1		2	2				2								宇和島	า ขั
\E	愛 媛 県		4	1	86	137	44	14	2	28	2		7		6		17						愛 媛 県	1
週推移	1週前		7	2	109	175	30	19	3	30			4		8		15			1			1週前	
移	2週前		5	1	66	110	25	28	6	34	1		10	1	5	1	8			5			2週前	
	3週前 0-5ヶ月		5 1	3	44	93	18 1	31	5	32			18		13		19			1			3週前	\dashv
	6-11ヶ月		3			5	2	1		12													1-4	
	1			1	4	14	10	4	1	16													5-9	
	2 3				4 7	15 19	8 5	2 1	1				2				1						10-14 15-19	
	4				7	13	6	'	'		1		2		3		'						20-24	_
年	5				10	13	5	4					3		1								25-29	年齢別
	6				7	10	1	1																別
	7 8				7 8	9	2 1								1								35-39 40-44	基
龄	9				7	6									1								45-49	幹定
	10-14				20	17	2	1									1						50-54	点
別	15-19 20-29 ⁵⁾				1 4	3	1				1						2						55-59 60-64	疾患)
	30-39				4	3	'										5						65-69	
	40-49																3						70-	
	50-59 60-69																2 2							
	70-79 ⁶⁾																2							
	80-																							
定	点当たり報	 告数																						=
	四国中央		.3		.3	5.7	1.3	.3		1.0			.3			-	-						四国中央	ţ
保	西 条		.2		1.5	6.0	.7	.3	.2	.5							1.0						西 条	
健	今 治		.2		5.2	2.0	.6			.8							6.0						今 治	
所	松山市		.1	.1	4.0	4.6	1.7	.6	.1	.5			.4		.1		2.3	-	-	-	-	-	松山市	
'"	松 山				1.3	2.8	.3	.8		1.3													松 山	1

.3

.4

.1

1.3

2.0

1.2

.5

.2

.8

.2

4) オウム病を除く.

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

.0

.3

2.3

2.8

.3

3.7

2.1

3.0

(参考) 保健所別定点数

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

別

	/ 1-1-1/															
定				点				数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
1	ン	フ	ル	I	ン	ザ	定	汎	61	5	10	8	17	7	7	7
小		児		科		定		点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼			科		定			点	8	-	1	1	3	1	1	1
基		į	幹		定	:		点	6	1	1	1	-	1	1	1

1.3

.5 .5

.8

.1

¹⁾ 高病原性鳥インフルエンザを除く.

²⁾ 成人麻しんを除く.

³⁾ 真菌性を含む.

⁵⁾ 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上.

⁶⁾ 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上.

注)表中の報告数は11月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 43 週 (2007.10.22~10.28)

眼科定点

基幹定点

小児科定点

患	者報告数	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	高咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギー ナ	²⁾ 麻 し ん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3)細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	⁴クラミジア肺炎	成人麻しん		
	四国中央				1	29	2			3						1	-						四国中央	
保	西 条		3		6	33	6	3	2	8							1						西 条	
健	今 治		1		29	14	3			4													今 治	
所	松山市		2		64	68	3	10	1	10			3		4		9	-	-	-	-	-	松山市	
	松 山			1	7	20	1	6		2			1				1			1			松 山	
別	八幡浜					8	12			2					3		4						八幡浜	
	宇和島		1	1	2	3	3			1					1								宇和島	╛
2田	愛媛県		7	2	109	175	30	19	3	30			4		8		15			1			愛媛県	
週推移	1週前		5	1	66	110	25	28	6	34	1		10	1	5	1	8			5			1週前	
移	2週前 3週前		5	3	44	93	18 31	31	5	32	2		18	4	13		19			1		4	2週前 3週前	
	0-5ヶ月		8	3	36	146	1	32	1	50	3		28	1	17		30			3		1	2面削	4
年齡別	6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-		2 1 2	1	2 3 7 14 12 15 10 12 10 18 2 4	8 21 23 22 20 16 10 8 11 11 7	2 10 9 4 1 1 2	3 5 4 1 2 3 1	1 1 1	17 12 1			2 1 1		1 2 2 2 1		1 1 1 5 3 1 3			1			1-4 5-9 10-14 15-19 20-24 25-29 30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59 60-64 65-69 70-	/ 基牟宣点实
定	点当たり報	告数																			'			
	四国中央				.3	9.7	.7			1.0						-	-						四国中央	7
保	西 条		.5		1.0	5.5	1.0	.5	.3								1.0						西 条	
健	今 治		.2		5.8	2.8	.6			.8													今 治	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く.

.2

2) 成人麻しんを除く.

.9 .1

1.5

.5 .1

3) 真菌性を含む.

.3

.3

.1

| .2 | .2 | .4) オウム病を除く.

1.0

松山市

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上.

.3

.1

5.8

1.8

2.9

6.2

5.0

2.0

8.

4.7

.3

.3

3.0

.8

8.

6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上.

1.9

3.0

1.0

4.0

.8

.2

(参考) 保健所別定点数

松山市

八幡浜

宇和島

愛媛県

Щ

松

所

別

	<i>)</i>	~ / / /	73374	_/////	<u>~~</u>											
定	-			点				数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
1	ン	フ	ル	I	ン	ザ	定	竔	61	5	10	8	17	7	7	7
/]	١	児		科		定		点	37	3	6	5	11	4	4	4
眶	Į		科		定	:		竔	8	-	1	1	3	1	1	1
基	Ę		幹		定			评	6	1	1	1	-	1	1	1

.9

.5

.5

.3

8.

注)表中の報告数は10月31日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 42 週 (2007.10.15~10.21)

小児科定点

			1)						۱, ال	ノレイイス	t				2,		нхтт	化灬	٥,		++ /-				
	患	者報告数	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	店	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギー ナ	²⁾ 麻 し ん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	⁴クラミジア肺炎	成人麻しん		
ſ		四国中央				2	15	2		1	1			1			-	-			3			四国中华	£
	保	西 条				9	28	3	2	4	5			1				1						西 쇩	Ž.
		今 治				14	8	3			6					1								今 治	当
	健_	松山市		4		31	36	9	17	1	13			4		1	1	6	-	-	-	-	-	松山市	
	所	松山				8	6	1	5		3			3							1			松山	
	別	八幡浜		1		2	15	5	4		5			1		1		1			1			八幡沙	
		宇和島		•	1	_	2	2	•		1	1			1	2		•			•			宇和島	
ŀ		愛媛県		5	1	66	110	25	28	6	34	1		10	1	5	1	8			5			愛媛児	
	週	1週前		5	3	44	93	18	31	5	32			18		13		19			1			1週前	
	推移	2週前		8	3	36	146	31	32	1	50	3		28	1	17		30			3		1	2週前	
		3週前		5	10	22	116	24	23	3	40	1		32		7		17			2			3週前	
	年 齢 別	0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-		3 1 1	1	6 6 9 8 7 6 16 2	6 12 16 19 7 8 7 4 5 3 5 14 1 3	3 5 5 5 2 4 1	9 7 4 5 2 1	1 1 1 1	21 13	1		1 2 2 3 2	1	1 1 1	1	1 2 2			4 1			0 1-4 5-9 10-14 15-19 20-24 25-29 30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59 60-64 65-69 70-	年齢別 (基幹定点疾患)
_	定	点当たり報	告数	1		1								П		П	1			1	1				
	,,,	四国中央				.7	5.0	.7		.3				.3			-	-			3.0			四国中央	
ľ	保	西 条		I		1.5	4.7	.5	.3	.7	.8			.2				1.0	I					西	<u> </u>

	j		, , ,																					
		四国中	中央			.7	5.0	.7		.3	.3		.3				-			3.0			四国中	中央
1	呆	西	条			1.5	4.7	.5	.3	.7	.8		.2				1.0						西	条
6	建	今	治			2.8	1.6	.6			1.2				.2								今	治
		松山	市	.4		2.8	3.3	.8	1.5	.1	1.2		.4		.1	.3	2.0	-	-	-	-	-	松山	市
F	竹	松	Щ			2.0	1.5	.3	1.3		.8		.8							1.0			松	Щ
5	别	八幡	浜	.3		.5	3.8	1.3	1.0		1.3		.3		.3		1.0			1.0			八幡	浜
		宇 和	島		.3		.5	.5			.3	.3		.3	.5								宇 和	島
Г	į	愛 遅し	旦	1	0	1.8	3 0	7	R	2	a	Λ	3	Ω	1	1	1.0			ρ			憂 婬	星旦

¹⁾ 高病原性鳥インフルエンザを除(...

4) オウム病を除(.

基幹定点

眼科定点

(参考) 保健所別定点数

	/ 1111															
定				点				数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
1	ン	フ	ル	I	ン	ザ	定	点	61	5	10	8	17	7	7	7
小		児		科		定		点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼		;	科		定			点	8	-	1	1	3	1	1	1
基		j	幹		定			点	6	1	1	1	-	1	1	1

注)表中の報告数は10月24日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

²⁾ 成人麻しんを除く.

³⁾ 真菌性を含む.

⁵⁾ 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上.

愛媛県 全数把握感染症 第42、43、44週 (2007.10.15~11.4)

		類型	二類	三類愿	感染症									四類原	蒸染 症	<u> </u>												3	5類感	染症					\Box
		疾病名	(2) 結 核	2) 田園生下村 (3) 勝管出血性大朋康原外症	3) 場質 11 皿主 て 易 in 感染 (4) 腸 チ フ ス	(5)パラチフス	(1) E 型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	10) (1. C A A A A A A A A A A A A A A A A A A	コングラー・	3) (1		B) (2 ⁴ B E 本 E 影		(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメー バ赤痢	(E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ	(染症)劇症型溶血性レンサ球菌感	(7)	8)ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(1)ドウ球菌感染症	1
第		愛 媛 県	22		1																		1						1						
42		四国中央	1																																
43		西 条																																	
	保健	今 治	3		1																														
44週報告数	保健所別	松山市	7																				1												
報	別	松 山	3																										1						
一告数		八幡浜	6																																
		宇和島	2																																
调		44週	7																				1												
週推移	愛 媛	43週	9		1																								1						
移	7/2	42週	6																																
-		41週 愛 媛 県	213	3 2	24			1		1					3						6		4	2	1		6	1	9				6		
	\vdash	<u> </u>	7	3 2	2			1		1					J						J		4		1		U	1	9				U		
0		西条	22	2	2																2			1					1				1		-
0 7	保		12	_	6			1																1									•		
年	健	 松山市	95	1	6			,		1					1						1		4	<u> </u>			5		5				1		=
年累積	健所別	松山	19	- 1						-											1							1	3				2		
数		八幡浜	38		5																2						1						1		
		宇和島	20		3										2										1								1		

[・]表中の報告数は医療機関からの届出数を保健所ごとに集計したもので、患者の住所を示すものではありません。 ・医療機関からの報告日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.11.7集計)

愛媛県 定点把握五類感染症(月報) 2007年10月

							STI	D定点							基幹定点		1
			染症 クラミジア感			ルス感染症性器ヘルペスウイ			尖圭コンジロー マ			淋菌感染症		ドウ球菌感染症メチシリン耐性黄色ブ	菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	
患	者報告数	総数	男 性	女 性	総数	男 性	女 性	総数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	ブ	炎 球	症	
	四国中央	1	1														四国中央
保	西 条																西 条
健	今 治	5	5		2	2		1	1		3	3					今 治
	松山市	5		5	1		1	8	2	6	1		1	-	-	-	松山市
所	松 山	1	1											2			松 山
別	八幡浜																八幡浜
	宇和島										3	3		10			宇和島
	愛媛県	12	7	5	3	2	1	9	3	6	7	6	1	12			愛媛県
月	1月前	14	4	10	5	2	3	3	2	1	10	9	1	9			1月前
推移	2月前	12	5	7	8	6	2	6	4	2	7	7		22		1	2月前
12	3月前	13	3	10	10	3	7	7	3	4	7	7		19			3月前
年 齢 別	0 1-4 5-9 10-14 15-19 20-24 25-29 30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59 60-64 65-69 70-	5 1 2 1 3	2 1 1 1 2	3 1 1	1 1	1	1	1 4 1 1	1 1	1 4	1 4 1 1	1 3 1 1	1	1 2 1			0 1-4 5-9 10-14 15-19 20-24 25-29 30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59 60-64 65-69 70-
定,	点当たり報告				ı			ı								1	
	四国中央	1.0	1.0														四国中央
保	西 条																西 条
健	今 治	5.0	5.0			2.0			1.0			3.0					今 治
	松山市	1.3		1.3	.3		.3	2.0	.5	1.5	.3		.3	-	-	-	松山市
所	松 山	1.0	1.0											2.0			松 山
別	八幡浜																八幡浜
	宇和島										3.0	3.0		10.0			宇和島
	愛 媛 県	1.1	.6	.5	.3	.2	.1	.8	.3	.5			.1	2.0			愛 媛 県

(参考) 保健所別定点数

定	Я	i	数	愛媛県	四国中央	西条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
S	ΤI	D 定	点	11	1	2	1	4	1	1	1
基	幹	定	沪	6	1	1	1	-	1	1	1

注)表中の報告数は11月7日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第41、42、43週 (2007.10.8~10.28)

(定点当たり報告数)

									小児	科定点	点						眼科	定点			幹定			
			インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	高咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風 しん	ヘルパンギー ナ	²⁾ 麻 麻 し ん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
	愛	矮 県		.1	.1	1.2	2.5	.5	.8	.1	.9			.5		.4		2.4			.2			
	,_	香 川 県		1.4		.3	2.9	.3	.1	.1	.8			.6		.1		.3						
	近県	徳 島 県		.8	.0	.3	2.6	.3	.0	.0	.5			.2		.1								
	<i>></i> 1<	高 知 県		.2	.7	.3	2.5	.3	.8	.4	.3			.5		1.2		2.0						
41	全	玉	.1	.1	.1	.9	3.1	.4	.6	.1	.6	.0	.0	.4	.0	.3	.0	.5	.0	.1	.3	.0	.0	
	北	海道		.2	.2	1.5	1.4	.6	.7	.2	.6		.0	1.0		.1		.5			.2			
週	東	北	.0	.1	.1	.9	2.2	.6	1.4	.2	.6	.0	.0	.7		.4		.5			.8	.0	.0	
	関	東	.0	.1	.1	1.0	3.0	.4	.5	.1	.6	.0		.3	.0	.2	.0	.6	.0	.0	.3	.1		
	甲化	信越北陸	.0	.0	.2	1.0	2.4	.7	.3	.1	.5	.0		.3	.0	.4		.3		.1	.2	.1		
	東	海	.1	.1	.1	.7	2.7	.3	.4	.1	.7	.0	.0	.4		.3		.2	.1	.1	.6	.1		
	近	畿		.1	.1	.8	3.0	.3	.2	.1	.5	.0	.0	.2	.0	.2	.0	.3	.0	.1	.1			
	中	国四国	.0	.3	.2	.7	3.8	.4	.4	.1	.6	.0	.0	.4		.3		.8		.1	.1			
	九州沖縄		.5	.3	.2	.7	4.5	.5	1.1	.0	.9	.0		.3	.0	.4	.0	.7		.1	.2			
																				(2	007.1	10.17集計)		

	愛	愛媛 県		.1	.0	1.8	3.0	.7	.8	.2	.9	.0		.3	.0	.1	.1	1.0			.8		
	`E	香川県	.1	1.3	.1	.6	3.4	.3	.4		.6			.8		.1		.3					
	近県	徳島県		1.1	.1	.3	1.7	.6	.0	.1	.4			.1		.0							
	/ \	高知県		.2	.6	.7	2.3	.5	.9	.2	.7	.0		.4		1.0		1.0					
42	Ê	国 组	.1	.2	.1	1.1	3.5	.5	6.	.1	.7	0.	.0	.3	.0	.3	.0	.5	.0	.1	.3	.0	.0
	ᆀ	と海 道	.1	.3	.1	2.0	2.7	.9	.7	.2	.5	0.		.7	.0	.1		.4			.0		
週	亰	₹ 北	.0	.1	.1	1.3	2.6	.7	1.2	.3	.6	.0		.4		.3	.0	.5			.9	.1	.0
	関	東	.1	.1	.1	1.2	3.3	.5	.5	.1	.7	.0		.2	.0	.3	.0	.8	.0	.0	.2	.0	.1
	甲	信越北陸	.0	.0	.1	1.1	2.7	.8	.2	.2	.6	.0		.3	.0	.4	.0	.2	.0		.5	.1	
	亰	海 海	.1	.1	.1	.8	2.8	.3	.3	.1	.7	.0	.0	.3		.3		.3	.0	.0	.4	.1	
	近	f 畿	.0	.1	.1	.9	3.4	.4	.2	.1	.6	.0		.1	.0	.3		.3	.0	.1	.2		.0
	4	国四国	.0	.3	.2	.9	4.1	.5	.4	.1	.7	.0		.3	.0	.3	.0	.5		.2	.2		
	ナ	ι州沖縄	.4	.4	.2	.7	5.2	.5	1.1	.0	.8	.0		.2	.0	.4	.0	.7	.0	.0	.2		.0

(2007.10.24集計)

	愛 媛 県		.2	.1	2.9	4.7	.8	.5	1	.8			1		.2		1.9			.2		
	、 香川県	.0	1.3	.1	.3	3.6	.4	.3	.2	.7			.4		.2							
	近徳島県		.5	.0	.7	2.1	.7	.1	.0	.7					.3		.3		.2			
	高知県			.3	.5	2.4	.3	.8	.2	.3			.5		.4		1.0		.1			
43	全 国	.2	.2	.1	1.2	3.9	.6	.5	.1	.7	.0	.0	.2	.0	.3	.0	.6	.0	.0	.4	.0	.0
	北 海 道	.5	.2	.2	2.2	3.0	.9	.5	.2	.5	.0		.5	.0	.2		.2			.4		
週	東 北	.0	.2	.1	1.3	3.4	.8	1.3	.2	.6	.0		.4	.0	.4	.0	.5	.0		1.0	.0	.0
	関 東	.3	.1	.1	1.3	3.4	.5	.4	.1	.7	.0	.0	.2	.0	.2	.0	.8	.0	.0	.4	.1	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.1	1.4	3.0	1.1	.3	.3	.5	.0		.2		.3	.0	.3		.0	.4	.2	.0
	東 海	.1	.1	.1	.9	3.0	.5	.3	.1	.7	.0	.0	.2		.2		.2			.3	.1	Ī
	近 畿	.1	.2	.1	1.1	3.7	.5	.2	.1	.6	.0		.1	.0	.3	.0	.3	.0	.0	.2	.0	.0
	中国四国	.1	.3	.1	1.1	4.6	.5	.4	.1	.8	.0	.0	.2		.2		.9	.0	.1	.2	.0	
	九州沖縄	.4	.5	.1	.8	6.2	.5	.8	.1	.8	.0		.1	.0	.4		.9	.0	.0	.3		.0

(2007.10.31集計)

¹⁾ 高病原性鳥インフルエンザを除く. 2) 成人麻しんを除く.

³⁾ 真菌性を含む.

⁴⁾ オウム病は除(.

全国 全数把握感染症 第41、42、43週 (2007.10.8~10.28)

		類型	二類		Ξ	類感染	 症								四类	頁感染	验症													Ŧ	類感	染症					
		疾病名	(2) 結核	(1) コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E 型肝炎	A型肝炎	1) (6 オウム病	熱	(12)コクシジオイデス症	(18) つつが虫病				(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメー バ赤痢	(E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ		⑦後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 代表性風しん症候群	(11) (1	球菌感染症	バンコマイシ感染症 マイシ
		全 国	727	2	13	394	3	1	4	3		1		4	6	9	2				4		29	3	19	8	4		3	1	38	1			22	4	2
		愛 媛 県	15			1																															
第	四国	香川県	3		2	1																															
41	国	徳島県	9			1				1						1																					
42		高知県	8			0.4																	_												1		
72		北海道	19			21										4							2		1		2				1				4	4	
43	ブ	東北	57	0	0	124	1	1	1					2	2	1					2		4	4	44	2	1			1	2				1	1	_
週報告数	ノロッ	関東 東甲信越北陸	178 41	2	6	60 23	1	1		1				2	3		1				3		6 4	1	11	3			1	1	28	1			10	1	1
出告		東海	116		2	26	1		1	- 1					- 1	2	- 1						4		4				1		2				3	1	- '
数	ク 別	近機	97		2	59	1		- 1	1					1	1					1		4		1	1			- 1		3				2	1	1
	נימ	中国四国	86		2	26	'			1					1	2							4		2				1		1				2	-	
		九州沖縄	133		1	55				•		1		2	•	3	1						1	2		1			-		1				4		
		43週	281	1	8	102	1	1	1	2		1		2	2	2	2						9	3	10		3		1	1	10	1			5	1	$\dashv \dashv$
週推移	全	42週	223	•	5	126	1		1	1				1	1	1					1		11	-	5				1	-	12				5	2	1
推	全国	41週	223	1		166	1		2	-		1		1	3	6					3		9		4		•		1		16				12	1	1
139		40週	227		7	212	3			2					1							1	11		4				2	1	12	1			10	2	3
		全 国	12244	12	405	4139	42	16	48	129	13 2	7 4	3	100	80	70	5	1		2	43	10	530	24	639		191	6 1		84	1199	43	13			78	62
		愛 媛 県	204		3	24				1		1				3							6		3	_	1		6	1	8				6		
	四	香川県	83		3	11				2		3											3		1	2	1		2	1	3				4		
2	四国	徳島県	120		1	18				1						2							2			3				1	3				1		1
0		高知県	101			7				1						1									1	5			5	1	5		1		4	1	
0 7		北 海 道	416		6	102	1		9		-	1									1	3	27		20				2	6	18				11	4	1
		東北	756	2		497	4	3	4	12		5		40	1	1				2			39		35				3	6	34		2		25	7	5
年累積	ブロ	関 東	2974	7	196	1061	15	8	9	39	3	8 1	3	11	42	1					27	5	152	6	278				35	29	607	25	4		_	24	31
積	ロッ	甲信越北陸	742		14	341	2	1	3	7	_	1		9	2		1				1		55	1	25			2	9	6	25	2			18	6	5
数	ク	東海	1842		61	289	5		15	14		3		4	6	12					1	1	81	1	69				12	8	170	3			92	5	10
	別	近畿	2273	3		814	13	3	3	23		5		10	18	13		1			11		76		139				23	7	218	10	2		52	8	7
		中国四国	1360		30	323	1		3	12		2 3		6	3	19	1				2		54		27				21	13	49	3			38	2	2
		九州沖縄	1881		11	712	1	1	2	15		2		20	8	24	3					1	46	16	46	13	30	1	12	9	78		3		114	22	1

[・]医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

^{・2007}年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。